

平成24年第3回定例会 ◆発言者一覧◆

1		発言順：1 斎藤範夫（自由民主党・仙台）
2	平成24年第3回定例会（第2日目）2012.09.11	発言順：2 加藤けんいち（市民フォーラム仙台）
3		発言順：3 鈴木勇治（復興仙台）
4	平成24年第3回定例会（第3日目）2012.09.12	発言順：1 鎌田城行（公明党仙台市議団）
5		発言順：2 花木則彰（日本共産党仙台市議団）
6		発言順：3 小山勇朗（社民党仙台市議団）
7	平成24年第3回定例会（第4日目）2012.09.13	発言順：1 やしろ美香（自由民主党・仙台）
8		発言順：2 小野寺健（市民フォーラム仙台）
9		発言順：3 岡部恒司（復興仙台）
10		発言順：4 佐々木真由美（公明党仙台市議団）
11		発言順：5 すげの直子（日本共産党仙台市議団）
12		発言順：6 ひぐちのりこ（社民党仙台市議団）
13		発言順：7 及川英樹（みんなの党・みんなの仙台）
14	平成24年第3回定例会（第5日目）2012.09.14	発言順：1 大泉鉄之助（自由民主党）
15		発言順：2 菊地崇良（自由民主党・仙台）
16		発言順：3 佐藤わか子（市民フォーラム仙台）
17		発言順：4 庄司俊充（復興仙台）
18		発言順：5 小田島久美子（公明党仙台市議団）
19		発言順：6 ふるくぼ和子（日本共産党仙台市議団）
20		発言順：7 相沢和紀（社民党仙台市議団）
21		発言順：8 早坂あつし（みんなの党・みんなの仙台）
22	平成24年第3回定例会（第6日目）2012.09.18	発言順：1 加藤和彦（自由民主党・仙台）
23		発言順：2 岡本あき子（市民フォーラム仙台）
24		発言順：3 渡辺博（復興仙台）
25		発言順：4 鈴木広康（公明党仙台市議団）
26		発言順：5 小野寺淳一（みんなの党・みんなの仙台）
27		発言順：6 赤間次彦（自由民主党・仙台）
28		発言順：7 伊藤新治郎（自由民主党・仙台）
29		発言順：8 鎌田城行（公明党仙台市議団）
30		発言順：9 ふなやま由美（日本共産党仙台市議団）

平成24年第3回定例会(第2日目) 2012. 09. 11

発言順: 1 斎藤範夫(自由民主党・仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1: 津波情報伝達システムは機能しないのではないか	1	0	1	2
2: 震災瓦れきの受け入れが評価されていない理由	1	0	1	2
3: 復興公営住宅(供給目標と供給条件, 整備手法, 買い取り金額)	0	0	0	0
4: 被災宅地危険度判定の被害件数が25%増えた理由	0	0	0	0
5: 災害危険区域に指定された太白区緑ヶ丘四丁目一部の移転用地の手当て	0	0	0	0
6: 泉区陣ヶ原等の残りの地区についての復旧方針の決定時期	0	0	0	0
7: 公共事業で復旧した被災宅地の履歴の公開	0	0	1	1
8: 住宅応急修理制度の応急修理の申込みを受け付けたが, 修理見積書が提出されていない件数	0	0	0	0
9: 市長のマニフェストの達成状況, 最重点課題	1	0	0	1
10: 東西線の乗車数の引き下げについて(需要予測, ハード, ソフト両面からの減少要因の歯止め対策, ジャイアントパンダの誘致策)	0	0	0	0
11: 広州広域市への公式訪問(慎重な検討が必要)	0	0	0	0
12: みやぎ発展税(市内の法人の負担額等, それを利用して市外に出た企業, 具体的なメリット, 市長の所見)	0	0	0	0
13: 特例公債法案が成立したことによる仙台市の資金繰り	0	0	0	0
14: 仙台市障害者総合支援センターの対象者と支援内容, 他との連携	0	0	0	0
15: 泉パークタウンサイエンスパークの地区変更	0	0	0	0
16: 健全化判断比率と経常収支比率	0	0	0	0
17: 震災の影響と財政見通し	0	0	0	0
18: 本市職員の給料水準と削減の必要性	0	0	0	0
19: 国家公務員の退職金の引き下げに伴う地方公務員の退職金の引き下げについて	0	0	0	0
20: 東北電力の株式の売却	0	0	1	0
21: 収入未済額への取り組み	0	0	0	0
22: 市立病院の損失(入院患者の減少, 新病院の稼働率)	1	0	0	1
	4	0	4	7

【コメント】

3, 4, 5, 6, 8, 12(一部), 13, 14, 16, 21⇒担当者に聞けば済む質問
 10⇒「ハード, ソフト両面からの減少要因の歯止め対策」とは何かを提示する必要がある
 9, 11, 17, 18, 19⇒相手が一般論で自由に回答できる形式の質問を見直す必要がある。具体的な改善策を持って質問しているのかどうか不明

平成24年第3回定例会(第2日目) 2012.09.11

発言順: 2 加藤けんいち(市民フォーラム仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1: 3年間の市政運営の評価と仙台市総合計画と仙台市震災復興計画の 取り組み, 国と県との連携の重要性	0	0	1	1
2: 復興計画を進める条件についての市長の所見(同一課題の共有, 役 割発揮等)	0	0	0	0
3: 地域防災計画原子力災害編の情報収集の手法(宮城県からの情報提 供との整合性。情報の精査。広報), 県との連携	0	0	0	0
4: 市民力の発揮に向けた具体的施策	0	0	0	0
5: 市民意識調査報告書に対する市長の所感と市民ニーズの高い施策の 実施計画への反映	0	0	0	0
6: マンパワー不足への対応(退職した職員の任期付採用, 民間委託)	0	0	1	1
7: 歳入増の取り組み(公共資産の再精査と早期売却, 優先順位を明確 にした延滞債権の回収)	0	0	1	1
8: エネルギー政策の窓口一本化の必要性	0	1	1	2
9: みやぎ発展税(本市への影響, 本市にとってのメリットある活用)	0	0	0	0
10: 仙台市工場立地法に基づく準則を定める条例(区域の指定と緑地指 定の柔軟な対応)	0	0	1	1
11: 大規模校の課題について	1	0	0	1
12: 学校職員の不祥事と教育行政に対する信頼回復	0	0	0	0
13: 小中学校のいじめの認知件数, 警察の教育現場への介入	0	0	0	0
14: 防災集団移転促進事業の調査費等の交付金の満額交付についての所 見, 復旧事業の進捗状況, 第四次以降の申請にあたっての所見	0	0	0	0
15: 復興公営住宅の地元業者への発注の必要性	0	0	0	0
16: 復興公営住宅の買い取り事業者が地元業者である必要性	0	0	0	0
17: 震災復興関連事業(避難誘導, 各種表示板の設置等, メモリアル施 設)	0	1	2	3
	1	2	7	10

【コメント】

2 ⇒ 「同一課題の共有、役割発揮」とは具体的に何を指すのか。質問の趣旨が不明確。

3 ⇒ 原発事故における仙台市の情報収集、情報分析、市民への情報提供の何がポイントか、専門的な学習が不可欠。

4・5・9・11・12・13・14 ⇒ 質問と提案が抽象的で漠然としている。〔13〕（いじめの認知件数）、〔14〕（復旧事業の進捗状況）担当者に事前に確認しておくべき。

17 ⇒ 具体的に優れた質問

平成24年第3回定例会（第2日目）2012.09.11

発言順：3 鈴木勇治（復興仙台）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：国会や政府の状況についての被災地仙台の市長の感想	0	0	0	0
2：市長の現時点での公的の達成度（子育て支援策等），二期目に向かっている思い	0	0	0	0
3：財政問題（中期財政見通しの根拠，934億円の財源不足額の解消策）	0	0	0	0
4：財政見通しの市民への周知	0	0	0	0
5：臨時財政対策費の危険性	0	0	1	1
6：特例公債法案の成立の遅れについての感想と国に意見を言う必要性	0	0	0	0
7：本市独自の支援制度（国に認めさせるための取り組み，見直し，先頭に立つ必要性）	0	0	0	0
8：復興の進捗状況の公表（毎月一度マスメディアで公表の必要性）	0	0	1	1
9：震災記録誌編さんの必要性	2	0	2	4
10：生活保障制度（過去3年間の生活保護費と歳出に占める割合等，収支不足の改善策）	0	0	0	0
11：介護保険制度（第一期から四期の保険料の平均額，一般会社からの繰入額，安定運営を国に働きかけるべき，過去3年間の特養整備への補助金総額の推移，特定施設の整備枠拡充に向けた方針の問い直し）	0	1	1	2
12：（復興需要の恩恵を十分に受けていない）中小企業に対する対応等	0	0	0	0
13：農地の復旧工事と圃場整備の進捗状況，小規模零細農家への配慮	0	0	0	0
14：域外からの企業の誘致の取り組み	0	0	0	0
15：道路の復旧状況と今度の見直し	0	0	0	0
16：道路のり面の崩壊防止対策	0	0	1	1
17：雨水の浸水対策	0	0	0	0

18：アセットマネジメント（導入スケジュールの変更，十分な把握ができていないか，財源と運用）	0	0	0	0
	2	1	6	9

【コメント】

3⇒見通しや財源不足額解消等を担当者に事前に確認し，会派をあげて研究し，対案を用意して質問すべき。相手が一般論で自由に回答できる形式の質問を見直す必要がある。一般論を聞いて終わりでは議会の質問とは言えない。

4⇒どのように周知すべきかの「答え」を質問者が持たないで質問しても意味がない。

9⇒優れた質問。

10（過去3年間の生活保護費と歳出に占める割合等）⇒担当者に事前に確認すべき。収支不足の改善策について会派独自の案を持って質問すべき。

11（第一期から四期の保険料の平均額，一般会社からの繰入額，過去3年間特養整備への補助金総額の推移）⇒担当者に事前に確認すべき。

12⇒対策等の内容を事前に調べて質問すべき。

13⇒農地の復旧工事と圃場整備の進捗状況⇒担当者に事前に確認すべき。

14⇒域外からの企業の誘致の取り組み⇒担当者に事前に確認すべき。

15（道路の復旧状況と今度の見通し）⇒担当者に事前に確認すべき。

17（雨水の浸水対策）⇒担当者に事前に確認すべき。

平成24年第3回定例会（第3日目）2012.09.12

発言順：1 鎌田城行（公明党仙台市議団）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：震災の記憶が風化しつつあることについての市長の所見	0	0	0	0
2：津波情報伝達システム（音声情報）が作動しなかったことと再発防止策	1	0	1	2
3：屋外拡声装置の作動状況と津波・洪水等に対する耐久性	1	0	1	2
4：国の地方交付税交付金の執行抑制による本市への影響と政府に抗議する必要性	0	0	0	0
5：例年の会計決算と震災復興の会計決算を区別する必要性と市長の力強いメッセージの必要性	0	0	0	0
6：現状復旧に固執する国の支援姿勢を改めさせる必要性	0	0	0	0
7：スポパーク松森温水プール天井落下と震災の避難所の天井落下との関係。文科省の屋内運動場等の天井落下防止策のための総点検等の指示に対する対応	0	0	0	0
8：応急仮設住宅（特に借り上げ民間賃貸住宅）の期間延長と柔軟な対応の必要性	1	0	1	2
9：住宅の応急修理制度（修理見積書の提出の滞りによる工事に着手できない案件の続出）の円滑な実施と相談業務の強化	1	0	1	2
10：高等学校の修学資金借入支援制度（教育ローンの利子補給制度の拡充＋本市独自の奨学金制度創設）	1	0	1	2
11：予防接種事業について（全額自己負担とされてきた任意接種が定期接種となることによって自己負担が軽減される見通し。定期接種化による国からの財政支援。国への財政支援の要請等）	0	0	0	0
12：受動喫煙防止対策（J Tの協力を得て喫煙スペースを設置する必要性）	1	1	2	4
13：ねんりんピックの成功に向けての準備状況	0	0	0	0
	6	0	7	14

【コメント】

5⇒重要な指摘。区別の必要性をさらに掘り下げ、導入を強く迫るべき。抽象的質問と所見の確認にとどまるのはもったいない。
 6⇒「どちらが得策であるか」を国に理解させ国の支援姿勢をどうすれば改めさせることができるか具体的方策を提示する必要がある。
 7⇒スポパーク松森温水プール天井落下と震災の避難所の天井落下との関係について自らの調査結果を突きつけて質問する必要がある。教訓が「どこまで生かされたか」を当局に問うのではなく自らの調査で結論を出すべきである。
 11⇒担当者に事前に確認する必要がある質問が含まれている。市として何をすべきか質問者の意見が欠けている。
 12⇒調査を踏まえた具体的で優れた質問。

平成24年第3回定例会（第3日目）2012.09.12

発言順：2 花木則彰（日本共産党仙台市議団）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：宅地被害に起因する建物被害について国に支援を求める必要性	0	1	1	2
2：巨額の復興予算が被災者の生活再建とコミュニケーションの再生に使われていないのではないか	1	0	1	2
3：被災自治体の借金が増えない方式の財政支援を国に求めるべき	0	0	0	0
4：地下鉄東西線のみ500億円を超える繰り越しを出している理由	0	0	0	0
5：復興の課題に力を集中し（地下鉄東西線とその沿線開発のような）開発型公共事業に金をかけるべきではない	0	0	0	0
6：被災者の生活再建（移転先の土地の確保を市が責任を持って行うべき）	1	0	1	2
7：移転対象地区から外れた浸水地域への不十分な支援策（移転と現地再建のどちらでも選べる地域の拡大）	0	0	1	1
8：人が住めなくなった地域で区画整理事業を進めることの疑問（避難道路等は買取方式を検討するべき）	0	0	1	1
9：津波復興拠点事業の適用を研究するべき	0	0	0	0
10：防災集団移転事業の課題（土地・家屋を被災直前の価値に基づいて買い上げるべき）	0	0	0	0
11：地域のコミュニティーを再生させるため、集団移転先に近い復興公営住宅に（経済的理由があっても）入居できるようにするべき	0	0	1	1
12：仮設住宅のコミュニティーを維持するため、長町地区に復興公営住宅を計画するべき	0	0	1	1
13：折立団地内に住宅再建できない被災者のための復興公営住宅を整備するべき	0	0	1	1
14：（8分の7が補助されるので）居住者のニーズに合わせ、思い切った復興公営住宅の整備を行うべき	0	0	1	1
15：復興公営住宅の整備を民間業者が建てたものを買取る方式に頼る必要はない（市が被災者のニーズに合わせて計画するべき）	0	0	1	1
16：被災者の生活再建のための原則（国の責任の明確化、被災前の状態に戻すこと、再建までの間の生活保障）を国に求める必要性	0	0	0	0
17：震災を経ても人減らしの反省を行うつもりが無いのかどうか	0	0	0	0

18：区役所の弱体化の流れと大区役所制を選択した意義について	1	0	1	2
19：税務事務の集約化の住民にとっての弊害	1	0	2	3
20：復興関連予算を地域経済の活性化に結びつけるべき	1	0	1	2
21：東部農業地域の圃場整備事業が地元業者や労働者の利益に繋がるように国に働きかけるべき	0	0	1	1
22：復興関連事業に関わる業者や労働者の利益（賃金）の保障と公契約法、公契約条例の必要性	0	0	1	1
23：仙台市地域防災計画原子力事故災害対策編について（独自の測定体制、情報の市民への伝達、防災会議の専門委員の人選）	0	0	1	1
24：女川原発の再稼働に反対を表明する必要性	0	0	1	1
	5	1	18	24

【コメント】

- 2⇒（被災者に寄り添った手立てを市が尽くしても）財源の補償を国がしない場合の対応を考慮する必要はないか。
- 4⇒「いずれ支出することが確実である」という回答に対する反論を用意して質問する必要がないか。
- 5⇒乗客人数の予測値の下方修正は予測計算方法の誤りにも一つの原因があるはず。
- 9⇒実際に津波復興拠点事業を適用した地域があるのであれば調査し、基準等への適用の可否を研究し質問するべき。
- 10⇒移転の支援（目的）と被災直前の価値による買い上げとの関係が不明確。前者から後者が導かれる理由を明確にするべき。
- 19⇒優れた指摘。集約された結果についてフォローし、引き続き質問するべき。

平成24年第3回定例会（第3日目）2012.09.12

発言順：3 小山勇朗（社民党仙台市議団）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：5年間の復興計画を責任を持って指揮されるかどうか（市長の所見）	0	0	0	0
2：特別自治市のグランドデザイン，県との関係，権限，区役所の権限，住民サービス等についての所見	0	0	0	0
3：東部沿岸部の被災農家に対する調査結果と仙台市が進める計画との調整	0	0	0	0
4：企業が農業に参入することの懸念と農業者の希望を最優先した構造改革の必要性	0	0	0	0
5：女川原発の再稼働の必要性についての市長の所見	1	0	1	2
6：放射能についての検査体制（検査器の配備場所と検査体制の確立の必要性）	1	0	1	2
7：オスプレイ配備と低空飛行訓練の問題（反対の申し入れを国に行うべき）	1	0	1	2
8：震災被害に対する市独自の支援策の判断過程	0	0	0	0
9：税務事務の一元化について（目的と効果，職員数の変化，本庁と区役所との業務分担等，災害対応とマンパワーの不足，国民健康保険料等の徴収体制）	0	0	0	0
10：南蒲生浄化センターの災害時の電力確保，水処理機能停止に対応する排水システムの確保，再生エネルギーの活用の必要性	0	0	0	0
11：自動車運送事業（バス），地下鉄高速鉄道事業の重要性	0	0	0	0
12：今後の乗客増と新会計基準に向けた取り組み	0	0	0	0
13：地下鉄の安全対策（軌道施設の安全確保，勾当台駅の水漏れ，地震・火災対策，水害対策）	0	0	0	0
14：ガス事業の厳しい経営と管理者の所見	0	0	0	0
15：仙台市ガスエンジニアリング(株)について（発注の内容，完全子会社にした理由，そのメリット，1億円の退職金）	1	0	1	2
16：家庭ごみ及びプラスチック製容器包装収集運搬等の債務行為の補正について	0	0	0	0
17：火災予防条例の改正（改正に当てはまる事業所の数，今後改正に当てはまる事業所の数の見通し）	0	0	0	0

18：宿泊施設の火災防止の対応（基準法違反で使用禁止にできる要件，福山市のような事件を起こさないための指導体制）	1	1	1	3
19：営農支援のための農業機材の購入と貸し出しについて（購入した農業機材の数の決定根拠。貸し出す相手の要件等）	0	0	0	0
	5	1	5	11

【コメント】

- 2⇒所見を聞いてどうするのか。次の矢を用意しない聞きっぱなしの質問は議会の緊張感を失わせる原因。
- 3・4⇒計画とどのように調整するべきか，農業者の希望を最優先に構造改革のために何が必要か，質問者は自らの考えを提示して質問するべき。
- 8⇒判断過程を聞いてどうするつもりか。2同様，次の矢を用意しない聞きっぱなしの質問は疑問。
- 9⇒事前に担当者に確認し，問題点とそれに対する質問者の意見を明確にして質問するべき。
- 10⇒これも9同様，事前に担当者に確認し質問するべき。
- 11・12⇒上記2と同様，次の矢を用意しない聞きっぱなしの質問は疑問。
- 13⇒上記9と同様，事前に担当者に確認し質問するべき。
- 14⇒上記2と同様，次の矢を用意しない聞きっぱなしの質問は疑問。
- 16⇒上記9と同様，事前に担当者に確認し質問するべき。
- 17⇒上記9と同様，事前に担当者に確認し質問するべき。
- 19⇒上記9と同様，事前に担当者に確認し質問するべき。

平成24年第3回定例会（第4日目）2012.09.13

発言順：1 やしろ美香（自由民主党・仙台）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：東日本大震災の「情報」（緊急津波速報，エリアメール，杜の都防災メール，ツイッターの利用等）という教訓についてのその後の検討	0	0	0	0
2：津波対策（啓発活動，参加者数等）	0	0	0	0
3：津波情報伝達システムの事故を教訓とするフェイルセーフの必要性	0	0	0	0
4：心のケア（絆センターの利用状況，現在の活動状況，今後の計画）	0	0	0	0
5：地域の商店街や個人商店などの（福島原発事故による）風評被害	0	0	0	0
6：低所得家庭への学習支援	2	1	2	5
	2	1	2	5

【コメント】

- 1⇒継続的に追及する姿勢は評価できるが，その後の検討経過をあらかじめ調査し，問題点を明確にして質問すべき。
 2⇒これも事前に当局の担当者，参加者にあたって啓発活動と問題点を把握して質問すべき。
 4⇒上記①②と同様，事前調査が決定的に欠けている。「分からないことを聞く」というスタイルの質問を止めるべき。
 5⇒「回答の丸投げ質問」の典型。当局としてどうすべきか質問者の意見を待って質問すべき。
 6⇒他都市の事例を踏まえた優れた質問。

平成24年第3回定例会（第4日目）2012.09.13

発言順：2 小野寺健（市民フォーラム仙台）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：地域主権改革関連法に該当する法律と新設や改正が必要とされる条例	0	0	0	0
2：地域主権改革関連法の施行による仙台市の独自性発揮の必要性	0	1	0	1
3：杜の都・仙台絆寄付について（ふるさと納税の件数、金額、施策への反映、寄付者のメリット、PRへの工夫、仙台市民を対象にした寄付制度の創設）	0	1	1	2
4：市民の鬱病の状況についての認識、東日本大震災以降の（市民と職員）増加傾向と対策	0	0	0	0
5：子ども・子育て支援法に伴う影響、調査・審議機関の設置、認定こども園の認定動向、進んでいない理由、改善策	0	0	0	0
6：待機児童対策（現在の進捗状況と対策、定員増等のデータ、ゼロへの決意）	0	0	1	1
7：小学校の外国語活動	0	0	1	1
8：小中一貫教育（中一ギャップと仙台市の対応、郊外団地の児童数の減少の深刻化との関係）	0	0	0	0
9：就労・子育て支援の拡充について市長の意気込み	0	0	0	0
	0	2	3	5

【コメント】

1⇒事前に担当者に確認すればいい質問。調査が不足している。
 3⇒ふるさと納税に関するデータは事前に担当者に確認すべき。
 4⇒鬱病についてのデータを自分で調べて、仙台市の対応の不十分なところを明確にして質問するべき。「調べれば分かることを聞く」質問は改善する必要がある。
 5⇒これも事前に担当者に確認すればいい質問。事前に調査し、どこをどうするべきか、質問者の意見をはっきりさせてから質問するべき。
 6⇒継続的追及の姿勢は評価できるが、進捗状況や定員増等のデータは事前に調べるべき。ゼロに向けての対策は他都市の事例の調査が不可欠

平成24年第3回定例会（第4日目）2012.09.13

発言順：3 岡部恒司（復興仙台）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：復興の足かせになりかねない資材不足、技術者不足について（現状と今後の見通し、資材不足・技術者不足についての現状認識、受注者側の体制が整ってから発注する仕組みの導入の必要性）	0	0	1	1
2：市役所の庁舎の分散化について（民間の借り上げ状況、年間の賃料、分散化による無駄と不便、本庁舎の耐震強度の真相、市長の決意）	0	0	0	0
3：ネーミングライツについて（実績と現状の評価、大胆な発想と工夫の余地、アイデアの競争、市長の決意）	0	0	0	0
4：多目的に使用されている国の復興予算についての市長の感想と抗議の声をあげる必要性	0	0	1	1
	0	0	2	2

【コメント】

1 ⇒受注者側の体制が整ってから発注する仕組みの導入は貴重な意見。専門家の協力を得て、導入しやすい形を研究して提案する必要がある。現状認識等は事前に調査するべき。
 2 ⇒民間の借り上げ状況、年間の賃料は事前に担当者に確認するべき。無駄と不便も職員からの聞き取りが必要。新庁舎の建て替えは分散化のデメリットと耐震性だけで結論が出せる問題ではなく、総合的検討が必要である。会派をあげての継続的調査が不可欠。
 3 ⇒他都市の優れた工夫に学んで質問する必要がある。

平成24年第3回定例会（第4日目）2012.09.13

発言順：4 佐々木真由美（公明党仙台市議団）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：被災者、市民に寄り添う復旧・復興支援ができたか。市長の所見と今後の決意。	0	0	0	0
2：メモリアル施設（メモリアル時計）の整備の必要性	0	1	2	3
3：新浄化センター内のメモリアル施設の設置の必要性	0	0	2	2
4：東部地域における海拔表示の設置の必要性	0	1	2	3
5：感染症（トキソプラズマ）の予防について	0	0	1	1
6：コミュニティバス（地域・民間・行政の連携の必要性）について	1	1	2	4
	0	2	7	9

【コメント】

- 2～4 ⇒ 具体的提案を伴った優れた質問。
 5 ⇒ 市内の感染者数と感染原因の調査が不可欠。感染原因と市政との関連性がポイント。
 6 ⇒ 具体的提案を伴った優れた質問。

平成24年第3回定例会（第4日目）2012. 09. 13

発言順：5 すげの直子（日本共産党仙台市議団）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
<p>1：子供達に豊かな教育を保障する政策を求めて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不要額を出し、予算が減る決算の妥当性 ・切実な要望が取り上げられていない現状と予算を増やして要望に応える必要性 ・プレハブ仮設校舎の特別室にエアコンを設置する必要性 ・扇風機の設置の必要性 ・復興加配の教員を来年度以降も実施すること、増員を国に求める必要性 ・新職員の増員を国に求める必要性 ・市独自の少人数学級の実施の必要性 ・全市一斉の故郷復興プロジェクトの実施を中止すべき ・就学援助の基準額を生活保護基準額の1.3倍まで引き上げる必要性 ・準要保護世帯に新たな支給をすることを国に求める必要性 ・給食費の引き上げを止めるべき 	2	2	2	6
	2	2	2	6

【コメント】

教育一本に絞り、教育の実情を踏まえ、他都市の事例も引き、具体的提案を伴った優れた質問。

平成24年第3回定例会（第4日目）2012.09.13

発言順：6 ひぐちのりこ（社民党仙台市議団）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：新規採用職員の声を聞く取り組みの必要性	0	0	1	1
2：非常配備発令時に職員が速やかに参集できる体制と検証の必要性。 地域防災計画と防災マニュアルの見直し（最前線で活動する人の声を反映する必要性）	0	0	1	1
3：旧姓使用の範囲の拡大と届出期間の見直しの必要性	1	1	2	4
4：ジョジョ展 in S市杜王町の効果と教訓（評価・経緯・運営・今後の課題）	1	0	1	2
5：発達障害者に対する支援	0	0	0	0
	0	0	0	0

【コメント】

- 2⇒見直しの作業がどのように行われているのかを調査し、質問するべき。
 3⇒調査を踏まえた優れた質問。
 5⇒仙台市の支援の現状を調査し、さらに何が出来るかを突き詰めて質問するべき。

平成24年第3回定例会（第4日目）2012.09.13

発言順：7 及川英樹（みんなの党・みんなの仙台）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：在宅医療に積極的に取り組む必要性	1	1	1	3
2：健康対策	0	0	0	0
	1	1	1	3

【コメント】

1⇒視点は優れているが、「さらに取り組んでいくべき」では不十分。市として今何ができるか、今何をすべきか（実行可能な具体的対策）をつかんで質問するべき。
 2⇒認知症なら認知症に絞ってそれと市政とのかかわりを調査し、①同様、市として今何ができるか、今何をすべきかをつかんで質問するべき。病気の予防＝ラジオ体操は（一つ的手段ではあるが）質問としてはやや短絡ではないか。

平成24年第3回定例会（第5日目）2012.09.14

発言順：1 大泉鉄之助（自由民主党）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：藤本副市長の就任の感懐と行財政改革への決意	0	0	0	0
2：新しい消防ヘリポート整備構想と今後の消防安全整備の構想	1	0	1	2
	1	0	1	2

【コメント】

1⇒それを聞いてどうするのか。二の矢が本来の質問ではないか。質問の前提を確認して終了とする質問スタイルは改善の必要がある。
2⇒新しい消防ヘリポートの整備構想が具体化した時点で他都市のそれを参考に更に質問する必要がある。

平成24年第3回定例会（第5日目）2012.09.14

発言順：2 菊地崇良（自由民主党・仙台）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：環境局課長級職員の横領事件と意識改革への疑問	0	0	0	0
2：震災の復旧・復興について国に更なる要望を行う必要性（それについての市の見解）	0	0	0	0
3：仮設住宅への入居基準の見直しの必要性	0	0	0	0
4：みなし住宅の延長・継続と借り直しの条件の見直し	0	0	1	1
5：防災集団移転促進事業と地区集会場整備の必要性	0	0	1	1
6：津波から命を守る多重的減災対策（津波避難道路）	0	0	1	1
7：市民センター未配置の場所について、配置の考えと今後の予定	1	0	1	2
8：蒲生の総合運動場の原状回復と立地条件の問題点	0	0	0	0
9：市長の歴史教育、公民教育等についての認識	0	0	0	0
10：中国からのジャイアントパンダの借り受けの効果とデメリット	0	0	0	0
	1	0	4	5

【コメント】

3⇒遭いた仮設住宅への途中からの入居がなぜ認められないのか、その根拠を調べて、その根拠に合理性がないことと再入居の必要性が高いことを論証し、質問すべき。
 4・5・7・8⇒課題を明らかにして、市の見解を明らかにさせるだけの質問では不十分。今市がやっていることを調査し、調査結果を踏まえ市として今何をすべきかを明確にして質問する必要がある。
 9⇒市政との関連性が不明。

平成24年第3回定例会（第5日目）2012.09.14

発言順：3 佐藤わか子（市民フォーラム仙台）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：いじめ対策について（いじめが繰り返され、それを学校現場が把握出来ないことについての教育長の見解、今までの取り組みの見直し、カウンセラー的な手法を教師が身につける必要、新人教員の研修、事務の効率化と子どもと向き合う時間の確保、ハイパーQ Uテストの導入、先進自治体のいじめ対策、たくましく生きる力育成プログラムと全校への拡大）	1	1	2	4
2：第二期仙台地域保健福祉計画について（仙台市社会福祉協議会との関係、コミュニティソーシャルワーカーの役割、小地域福祉ネットワークの役割の見直し）	1	1	2	4
3：市職員の意識改革について（評価制度の管理職への先行実施の結果、職員のやる気に応える給与体系の構築、人事の配置管理、新規の職員の採用試験の見直し）	1	0	2	3
4：市民サービスの向上（区役所の戸籍住民関係の土日開庁、アエル5階の仙台駅前サービスセンターの活用）	1	0	1	2
5：過疎化の進む山間部の土地利用のあり方（住宅の建設を可能にすべき、局を超えての協議の必要性、農地と住まいのセットでの貸し出し等の検討）	1	0	2	3
6：観光施策について（仙台宮城デスティネーションキャンペーンとブレDCの検証と本番への課題認識、外国人観光客の受け入れ体制の整備、広域観光ルート、新しい発想の観光資源の開発）	1	0	2	3
	6	2	11	19

【コメント】

いずれも調査結果を踏まえ具体的検討を伴った優れた質問。

平成24年第3回定例会（第5日目）2012.09.14

発言順：4 庄司俊充（復興仙台）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：仙台市と東北大学大学院農学研究科との協定の目的、内容等	0	0	0	0
2：被災地の農業経営再開マスタープランの効果と取組み状況	0	0	0	0
3：イノシシ対策（被害状況、地域の意向の把握、防護対策）	1	0	0	1
4：生活保護について（不正受給や扶養能力の調査、就労支援）	0	0	0	0
5：パークゴルフの活用	1	0	1	2
6：学校の部活動の全国大会出場への助成、子どもたちのスポーツ活動の環境整備のために地域や社会全体で支えるシステムづくりの必要性）	0	0	0	0
	2	0	1	3

【コメント】

- 1⇒「調べればわかること」は質問するべきではない。担当者に聞き、問題点を把握し質問するべき。
 2⇒これも〔1〕と同様。基礎的調査を行い、問題点を把握し質問するべき。
 4⇒課題を並べて当局に取り組みを尋ねる形の質問は改善する必要がある。不正受給、扶養能力の調査や仙台市の就労支援のどこに問題があるかを調査することが不可欠。
 6⇒他都市でそれを実現している所があれば調査し、先進事例を引きながら質問するべき。

平成24年第3回定例会（第5日目）2012.09.14

発言順：5 小田島久美子（公明党仙台市議団）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：仙台市民の前に進むための力を市長としてどう育んでいくのか	0	0	0	0
2：要介護認定者の増加と在宅サービスの拡充について	0	0	0	0
3：認知症予防のための脳の学習療法活用	1	1	2	4
4：介護支援ボランティア制度の導入	1	1	2	4
5：災害に役立つヘルプカードの導入	1	1	2	4
6：発達障害の傾向を心配する方々への適切な支援について（不登校やひきこもりなどの行動のある発達障害児支援の検討状況、相談までの待機期間、母親を孤立させないための支援、相談窓口と医療機関との連携、医療機関の受診についてのアドバイス）	1	0	1	2
7：被災宅地復旧事業の着工までの課題と対策	0	0	0	0
8：年少扶養控除廃止に伴っての本市の市税収入の見込額とその使い道について	0	0	1	1
	4	3	8	15

【コメント】

- 1⇒あまりに漠然とした質問。
 2⇒担当者からの聴き取り調査を行い、どこに問題点があるかを把握し、そこに焦点を当てた質問をするべき。質問の前提事実の確認をしているに過ぎない。質問は見直す必要がある。
 3・4・5⇒調査と他都市の事例を踏まえた優れた質問。
 6⇒相談窓口と医療機関との連携、医療機関の受給についてのアドバイスについては、さらなる事前調査が必要。他都市の事例を踏まえれば優れた質問になる可能性はある。
 7⇒現場調査によって何が課題かを突き止めないと具体的対策を提示できないのではないか。

平成24年第3回定例会(第5日目) 2012. 09. 14

発言順: 6 ふるくぼ和子(日本共産党仙台市議団)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1:生活保護制度の充実と発展について(生活保護が本来の機能を果たしているかについての市長の認識,年金の支給額の引き上げ,社会保障制度の充実等の必要性和それについての市長の認識,相談体制の強化,親子間の扶養を強制するかのようなマスコミ報道,不正受給者が横行しているようなマスコミ報道,市民に正しい情報を発信し,被保護者の人権を守る取り組みの必要性,義援金・支援金を受けたことで保護が廃止になった方への支援の必要性,全額国が措置した生活保護に充てるべきお金を使いきっていることの問題性)	1	0	2	3
2:ケースワーカーの増員と業務の評価,資質の計画的な向上策	1	0	1	2
3:生活保護の受給世帯の子どもたちに対する学習支援,その親に対する養育・日常生活支援の取り組みの必要性	0	1	1	2
4:就労支援について(市の直接雇用,安定雇用を国に求めるべき)	0	0	1	1
5:生活保護費が高いか(切り下げを必要とする額か)についての市長の認識,生活保護費を引き下げないよう国に意見を上げる必要性	0	0	1	1
	2	1	6	9

【コメント】

1⇒生活保護の問題点を多角的に捉えた優れた質問。生活保護に充てるべきお金を使いきっている問題などは他都市の事例を調査し,仙台市でもこのように出来るはずであるという質問をするべき。

平成24年第3回定例会（第5日目）2012.09.14

発言順：7 相沢和紀（社民党仙台市議団）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：沿岸防災林の再生（倒木等の処理方法，クロマツの苗を育てて植林しようとするプロジェクトの受け入れ，市独自の植栽ゾーンの設定，居久根の再生，失われた緑の再生）	1	1	1	3
2：塩害による街路樹被害と再生（枯れた街路樹の撤去，全体を一括しての植栽整備）	2	0	1	3
3：安全な住まいの確保について（浸水区域の被災者に対する新たな支援策，新たな住宅再建に向けた手続などのソフトの支援）	1	0	1	2
	4	1	3	8

【コメント】

2⇒詳しい現場調査を踏まえた優れた質問。

平成24年第3回定例会（第5日目）2012.09.14

発言順：8 早坂あつし（みんなの党・みんなの仙台）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：新しい屋台文化の復活と若者文化，食の宝庫仙台の発信	1	1	2	4
2：ジョジョ展 in S 市杜王町の今後の展開	0	0	0	0
3：在仙の作家，音楽家，画家などの芸術家と行政・市民の繋がり	0	0	0	0
4：いじめ問題について（教育相談課の資料中の「その他」の意味，重大な事案が生じた場合に第三者委員会を設置する必要性，助言指導以上の対応強化の必要性）	0	1	0	1
5：第一回伊達祭と観光開発，地域活性化	0	0	0	0
	1	2	2	5

【コメント】

1⇒他都市の事例を踏まえた優れた質問。
 3⇒繋がりを深めるために何が必要か，自らの案を提示すべき。回答を行政に頼る質問は改善する必要がある。
 4⇒指摘が一般論の域を出ていない。教育相談課の資料だけでなく実態の調査が必要。実態調査と専門家の意見を参考に，仙台市のいじめ対策の不足部分をつく必要がある。

平成24年第3回定例会（第6日目）2012.09.18

発言順：1 加藤和彦（自由民主党・仙台）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：愛子地区の教育機関の充実について（仮称錦丘小学校の関連施設としてのコミュニティセンター・児童館の建設のその後の状況，広瀬中学校の仮校舎賃貸借の概要，同校の敷地の確保と建設計画）	0	0	0	0
2：西部地域の将来に向けた使命と発展計画（愛子バイパスの延伸，交通渋滞の解消，市街化調整区域の解除，各区域の将来性）	1	0	1	2
3：科学技術開発の促進・推進について（仙台市の現状，弱いリーダーシップ，他都市の例，本市の技術開発例，浜松市の成功と当局の見解，情報発信都市の力の科学技術開発への活用，今後の研究開発組織のあり方，愛子地区の推奨）	0	0	0	0
	1	0	1	2

【コメント】

1⇒コミュニティセンター・児童館の建設のその後の状況，広瀬中学校の仮校舎賃貸借の概要などは調べればわかること。調べればわかることは自分で調べて結果を紹介し，問題点を質問するべき。
 3⇒質問の趣旨が不明。「他都市の事例を参考にし，本市が科学技術分野の振興に具体的目標を掲げる必要がある」ということであれば，会派あるいは質問者がそれを提示する必要があるのではないかと。浜松市の成功例を引くのであれば，浜松市の科学技術開発策にあって仙台市にないものが何かを突き止め，浜松市でやれることは仙台市でもやれるのではないかと質問する必要がある。愛子地区の個人的振興策の採用を求めているだけの質問の感を否めない。

平成24年第3回定例会(第6日目) 2012. 09. 18

発言順: 2 岡本あき子(市民フォーラム仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1: 女性, 障害者, 当事者が参画する仙台市防災会議について(新たな体制となった防災会議の運営についての市長の評価, 東日本大震災による仙台市の障害者死亡者数の把握に時間がかかった理由, 災害時要援護者避難プランをいつまでに構築するか, 進まないところへの支援の必要性, 避難所の運営マニュアルのチェック, 女性の視点を地域防災計画に反映させるため女性メンバーを加えるべき, 当事者の声の反映の必要性, 災害時のNGO機関との連携の必要性, 仙台市災害対策本部の収束の条件)	3	1	3	7
2: 市民の防災意識について(自主防災組織への助成, 自主防災組織や消防団への参加を促すための啓発)	1	1	2	4
3: 復興公営住宅のあり方について(見守りやケア付きの復興公営住宅の必要性, 高齢者福祉機能や見守りの体制等を併設する必要性, 民間からの手挙げ方式の買取りの場合にも同様の施設を盛り込んだ案を受け入れる必要性)	2	2	2	6
	6	4	7	17

【コメント】

- 1 ⇒ 防災会議の問題点を的確に掴み, 具体的な改善案を伴った極めて優れた質問。
 3 ⇒ 高齢化と復興公営住宅の関係を考察し, 他都市の事例も踏まえ具体的な改善案を伴った極めて優れた質問。

平成24年第3回定例会(第6日目) 2012. 09. 18

発言順: 3 渡辺博(復興仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1: 子育て世代支援, 高齢者支援, 若者支援の効果と現在の考え	0	0	0	0
2: 予算執行者としての1年間の結果の評価と課題の認識	0	0	0	0
3: 世代間の連携と調和を図るための施策の必要性	0	0	0	0
4: ミュージアム都市構想について(実現度についての認識, 一部限られた人々の事業となっていることについての対策, 今後のスケジュール, 文化庁のミュージアムタウン構想との関係, 理想形に至らない心配, 生涯学習都市実現の要になる可能性)	0	0	0	0
5: 豊齢学級などの地域の学びの場に対する評価	0	0	0	0
6: アンパンマンミュージアムと駅東の活性化, 市民の声(不満の声が多い)	0	0	0	0
7: 駅東第二土地区画整理事業について(現在の状況と認識, 今後の予定, 榴岡地域全体のコミュニティーの再構築の必要性, 職住接近の理想との乖離, 今後の取組み)	0	0	0	0
8: 仙台市立病院建設と患者本位の治療体制について(昨年度の取組み, 医療スタッフの充実と医療レベルアップの体制, 代替医療の現状と新仙台市立病院での取組み)	0	0	0	0
9: 救急車の不適切使用問題と仙台市の状況	0	0	0	0
10: コミュニティサイクルについて(自転車の安全利用と交通安全対策強化を連携させるべき時期, 先進地金沢市の例, 市民を巻き込んだコミュニティ自転車の導入実現)	0	1	1	2
11: 男女共同参画について(男女共同参画行政の進行についての評価, 女性トイレの改善)	0	0	0	0
12: 交流人口について(交流人口の拡大に向けた施策の執行状況と評価, 震災時支援してもらった都市への今後のフォロー, 都市間の関係構築)	0	0	0	0
13: 雇用改善に対する現在の認識と今後の課題の分析	0	0	0	0
14: ものづくりに対する昨年度の取組み	0	0	0	0
15: ガス事業について(民営化のロードマップ, 民営化推進についての見解)	0	0	0	0
16: 外郭団体について(位置づけと生かし方についての見解, 整理統合の取組み, 残された外郭団体の活用, 雇用環境の整備)	0	0	0	0

17：仙台市社会福祉協会について（苦戦を強いられていることについての見解，経営基盤の確立，活性化とさらなる活用の方策を考える必要性，経営計画についての見解等）	0	0	0	0
18：パンダの誘致について再考する必要性	0	0	0	0
19：児童生徒の学力向上に対する取組み	0	0	0	0
20：仙台市民のアイデンティティについての私見	0	0	0	0
	0	1	1	2

【コメント】

1・2・3⇒それを尋ねて，次にどうするつもりなのか。抽象的な課題を掲げ，一般的な所見を確認しておしまいという形式の質問が議員の居眠りを誘う原因の一つであることを自覚すべき。

4⇒ミュージアム都市構想の何を問題にしようとしているのか，狙いが不明。

5⇒これも〔1・2・3〕と同様。それを尋ねて次にどうするつもりなのか不明。

6⇒活性化に役立っていないならその理由を，不満を漏らす市民の方が多いのであればその理由を明示する必要がある。

7⇒駅東第二土地区画整理が旧住民のためにならなかった事業であったということであれば，その理由を具体的に挙げて認識させ，教訓として残しておく必要がある。

8⇒医療スタッフの充実と医療レベルアップの体制がどうなっているのかと聞く前に，自分で調査する必要があるのではないか。調べればわかることをわざわざ質問する必要があるのかどうか検討する必要がある。

9⇒〔8〕と同様。まず自分の足で調べて仙台市の現状を確認し，問題点を把握して質問すべき。

13⇒これも〔1・2・3・5〕と同じ。（質問者が雇用改善に関する市政の問題点を掴むことなく）現在の認識と課題を当局に確認して終わりという質問は止める必要がある。

14⇒「中長期を睨んでの腰を据えた取組み」とはなにか，金沢市にあって仙台市に不足しているものづくりの政策とは何か掴み，それを提示して質問する必要がある。

平成24年第3回定例会（第6日目）2012.09.18

発言順：4 鈴木広康（公明党仙台市議団）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：決算年度の発注工事のうち、地元業者の受注割合	0	0	0	0
2：節電対策（札幌市のような先進例にならった本市独自のLED電球購入補助事業の必要性、リース方式によるLED照明導入の検討の必要性、人感センサーを取り付けるエスカレーターへの導入の必要性、防災対応型太陽光発電システムと従来のシステムとの違いとその整備スケジュール）	1	2	2	5
3：改正介護保険法による介護サービスの指定、更新及び指導監督に係る事務の宮城県からの移譲について（各事業者への周知、現状及び今後の拡大）	0	0	0	0
4：空き家を介護施設として活用するための地区計画、建築制限等の見直しの必要性	0	0	1	1
5：自転車の事故対応（ドライバーに通学路があることを意識させる工夫、小中学校を中心とした自転車運転免許証交付事業の導入）	2	1	2	5
	3	3	5	11

【コメント】

- 1⇒担当者に事前に確認すれば済む質問。
 2⇒他都市の事例を引き、具体的改善案を伴った優れた質問。但し、防災対応型太陽光発電システムと従来のシステムとの違いとその整備スケジュールは担当者に事前に確認すれば済む質問。
 3⇒介護老人福祉施設などの実情を調査し、移設に伴う問題点を把握して質問するべき。
 5⇒上記〔2〕と同様、他都市の事例を引き具体的改善案を伴った優れた質問。

平成24年第3回定例会（第6日目）2012.09.18

発言順：5 小野寺淳一（みんなの党・みんなの仙台）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：倒壊危険建物の解体周知の徹底と市民への啓蒙について（倒壊の危険を有する残っている建物に対する対応，申請期限後に公費解体の申し出が合った場合の対応）	0	0	0	0
2：大震災を経験した仙台市としての新たな建物の基準について（施設の天井の耐震化の整備，建物の外壁・看板の落下を防止するための耐震化，塀の倒壊防止，住宅の耐震化の促進，道路に隣接している建物の耐震診断の義務化）	1	1	2	4
3：耐震改修の方法（減築による耐震改修の周知）	0	0	1	1
4：せんだい防災のひろばを防災の場にする必要性	1	0	0	1
5：町内会の見直し（再編結合）	1	0	1	2
6：パンダについて（誘致の必要性についての疑問，被災者の気持ちとの逆行，マイカー・バスによる交通渋滞，中国に頭を下げることの問題，動物園の展示方法の工夫による来客数の増加）	1	0	1	2
7：地震災害を経験した都市間の地震サミットの誘致	0	0	1	1
	4	1	6	11

【コメント】

1⇒事前に当局に前回建物の戸数を確認したのであれば，倒壊の危険を有し残っている建物に対する対応，申請期限後に公費解体の申し出が合った場合の対応についても確認し，問題点を指摘する形で質問することが可能なはず。
2⇒具体的改善案を伴った優れた質問。仙台市にやれることとやれないことを区別し，他都市でやっていることや専門家が推奨していることを提示し，仙台市でもやれるはずであるというスタイルの質問に進化させるべき。

平成24年第3回定例会（第6日目）2012.09.18

発言順：6 赤間次彦（自由民主党・仙台）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：東北大学雨宮キャンパス跡地利用，仙台商業高等学校跡地利用	0	0	0	0
2：宮城野原貨物ヤードの移転先の確保と同ヤードの利用等について仙台市が（二つの地域の発展と企業誘致や雇用対策にも繋がるので）積極的にバックアップする必要性	1	0	1	2
3：被災した町内会の集会所再建について（その後の検討状況，町内会に温かい支援をすることの必要性，冷房施設の増設の必要性，冷房施設の設置状況と今後の方針）	0	0	0	0
4：災害時に応急的に井戸水を活用することの調査結果	0	0	0	0
5：集団移転先等の電柱を地中化する必要性	0	0	0	0
6：学校の芝生化	0	0	0	0
7：震災孤児の就職対策	1	0	1	2
8：スポーツに対する支援について（スポーツについての市長の認識，スポーツ団体からの要望，市が買い取る移転地域の一部を暫定的に屋外スポーツ場所として利用することを検討する必要性）	0	0	1	1
9：ネーミングライツについて（各局での協議内容，募集を実施する施設，プロポーザルの手法の採用，地下鉄東西線や南北線での実施の可能性についての検討）	0	1	1	2
	2	1	4	7

【コメント】

- 1⇒この質問を事前に担当者に出し，回答を得た上で跡地利用の計画の問題点を洗い出し，それを指摘しつつ質問すべき。
- 3⇒集会所再建，その後の検討状況，冷房施設の設置状況と今後の方針等も事前に担当者に確認すべき。
- 4⇒これも担当者に聞けば済む質問。調査結果を踏まえ，その先の問題点について質問すべき。
- 5⇒電柱地中化のための課題を事前に調査し，「やれるはずだからやるべき」という質問スタイルにする必要がある。
- 8⇒スポーツについての市長の認識を一般的な形で質問する意味を再考すべき。

平成24年第3回定例会（第6日目）2012.09.18

発言順：7 伊藤新治郎（自由民主党・仙台）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：パンダの貸与について ・中国領事館を誘致する考えか否か ・政府からの打診の有無 ・物件の紹介や市有地の売却 ・市内の公有地を取得したいと打診してきた場合の対応 ・パンダ貸与のアイデアはどこから出てきたのか ・地元の反対運動が起きないようにするための工作の可能性 ・パンダ貸与の一旦留保の必要性	0	0	1	1
	0	0	1	1

【コメント】

パンダの貸与のアイデアはどこから出てきたのかは十分な事前調査が必要。
市側から働きかけたのであれば、質問者の懸念が変わってくる可能性がある。

平成24年第3回定例会（第6日目）2012.09.18

発言順：8 鎌田城行（公明党仙台市議団）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：国民健康保険等の窓口負担減免延長について ・医療費等の窓口負担を3月末まで継続することにした理由 ・周知を徹底する必要性と周知徹底策 ・これまでの証明書を持って受診した際の対応	1	0	1	2
	1	0	1	2

【コメント】

--

平成24年第3回定例会（第6日目）2012.09.18

発言順：9 ふなやま由美（日本共産党仙台市議団）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
<p>1：東日本大震災で被災した市民が窓口で支払う国民健康保険の一部負担金と介護保険の利用者が支払うサービス利用料の免除期間を来年の3月31日まで延長したことについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような気持ちで継続を決断したのか ・周知の徹底の必要性 ・他の自治体と協力して国が全額負担する特例措置を継続するよう国に強く求めるべき 	1	0	1	2
	1	0	1	2

【コメント】

--